

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	スポーツリテラシーⅣ (Sports LiteracyⅣ)		
ナンバリングコード	E20706	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル スポーツビジネス
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	コース必修: スポーツビジネスコース 選択: 地域マネジメントコース、Bソリューションコース、会計ファイナンスコース、こども・福祉コース コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E001501	クラス名	-
担当教員名	竹田 隆行		
履修上の注意、履修条件	教科書「スポーツ産業論第7版」のⅣ部とⅤ部を解説します。講義前に必ず教科書を読んでおくこと。他の関連科目を履修していなくても、この科目だけで理解できるようになっています。授業に出席するだけでは意味がありません。社会参画入門で学んだ授業を受ける態度、心構えを思い出してください。スポーツに対してそれぞれのこだわりを持っているかと思いますが、講義ではゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたい。		
教科書	スポーツ産業論 第7版(杏林書院)		
参考文献及び指定図書	現代スポーツ産業論(堂友館) プロスポーツビジネス(東邦出版)		
関連科目	スポーツ経営学、スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツイベント実践、スポーツリテラシー		

○基本情報			
授業の目的	スポーツ産業の発展はスポーツのビジネス化を進め、スポーツマネジメントやスポーツマーケティングの分野で多くの雇用を創出しました。アメリカはもとより、世界的な規模でスポーツビジネスの専門家の養成に力が注がれています。本講義では、スポーツ産業の現状を把握し、特にプロスポーツ、スポーツイベントについて学びます。試験に合格することだけでなく、修得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目標とします。		
授業の概要	スポーツ経営学の領域であるスポーツ産業を理解します。特にプロスポーツ、スポーツツーリズムを中心に現状と課題等を含めて学びます。教科書「スポーツ産業論第7版」を使用しますので、講義前、講義後には必ず読んでおくこと。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	スポーツリテラシーⅣを担当する教員(竹田隆行)は、社団法人スポーツ産業団体連合会(現:公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会)在職中に、スポーツイベントのマネジメントやスポーツビジネス講座の開講、スポーツに関する調査事業を担当。在職中に得たマネジメントの知識や経験を活かして、スポーツ産業について授業を行う。日本体育学会(体育経営管理専門領域)、日本体育・スポーツ経営学会に所属。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	スポーツビジネスに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。	10点		
【知識・理解】	スポーツビジネスの専門的・実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツビジネスの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。	50点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 最終授業時に全体向けにフィードバックを行う。

○その他

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	スポーツリテラシーⅣ (Sports LiteracyⅣ) 竹田 隆行	授業コード	E001501
学修内容				
1. ○第1回 スポーツ産業を構成する産業領域 スポーツ産業を構成する代表的な3つの領域を説明します。3つの領域とは、スポーツ用品市場、スポーツ施設空間産業、スポーツ情報サービス産業です。スポーツ産業の歩みを説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
2. ○第2回 進化するスポーツ産業 スポーツ産業(3つの領域を含め)の現状と課題を説明します。隣接する産業領域とのコラボレーションによって、スポーツ産業が発展する可能性について学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
3. ○第3回 日本のプロスポーツ 日本のプロスポーツについて説明します。プロスポーツは、スポーツ用品と異なり品質が保証できなくても販売するというユニークな点があります。それゆえの難しさがあることを理解します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
4. ○第4回 日本のプロスポーツ2 日本のプロスポーツについて説明します。日本の代表的なプロスポーツである、「大相撲」「プロ野球」「Jリーグ」「Bリーグ」の現状と取り組みについて説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
5. ○第5回 アメリカのプロスポーツビジネス1 アメリカの4大プロスポーツリーグ (MLB、NFL、NAB、NHL) の概要を紹介します。アメリカのスポーツリーグは、1年間スポーツが楽しめる仕組みになっていることを理解します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
6. ○第6回 アメリカのプロスポーツビジネス2 アメリカのプロスポーツの基本的な考え方を理解します。資本主義社会のアメリカで4大プロスポーツリーグが特殊なビジネスを展開している理由を説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
7. ○第7回 ヨーロッパのプロスポーツビジネス ヨーロッパには、サッカーだけでなく多くのプロスポーツが存在することを紹介します。ヨーロッパのサッカー市場におけるメディアの功罪について説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
8. ○第8回 ヨーロッパのプロスポーツビジネス ヨーロッパのサッカービジネスについて説明します。ヨーロッパのサッカークラブの収益構造とJリーグのクラブの収益構造の違いを理解します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	スポーツリテラシーⅣ (Sports LiteracyⅣ) 竹田 隆行	授業コード	E001501
学修内容				
9. ○第9回 プロ契約とスポーツエージェント スポーツエージェント(代理人)の業務を紹介します。スポーツエージェントは、必要不可欠と言われていますが、その功罪について説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
10. ○第10回 権利としてのスポーツ スポーツビジネスは権利ビジネスと言われる理由を説明します。スポーツと企業のかかわりとアスリートのエンドースメント契約から、今後の権利ビジネスを考えます。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
11. ○第11回 スポーツツーリズム 新たなスポーツビジネスとして注目されているスポーツツーリズムについて説明します。スポーツツーリズムが機能するための仕組みを学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
12. ○第12回 スポーツと地域活性化1 スポーツを利用した地域活性化について説明します。スポーツ振興と地域に関連する政策の変遷を理解します。スポーツが地域活性化に果たす役割を考えます。				
予習	教科書「スポーツ産業第6版24章(P313-P317)」を読んで、要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
13. ○第13回 スポーツと地域活性化2 Jリーグのホームタウン活動と地域活性化、スポーツNPOの地域活性化戦略、地位スポーツと地域通貨の可能性について、事例をもとに学びます。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
14. ○第14回 スポーツと社会的責任 スポーツと社会的責任(CSR)について学びます。企業の社会的責任の考え方から、スポーツの社会的責任を考えます。スポーツを通じた社会的責任についても説明します。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
15. ○第15回 これからのスポーツ産業 スポーツ、スポーツ産業に必要なものはイノベーション(新しい価値創造)であることを理解します。これまで学んだことをベースにスポーツ産業の発展の可能性について考えます。				
予習	教科書「スポーツ産業第7版」の該当する章を読んで要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義で説明した内容を教科書で確認すること。また、関連する事柄を参考図書やネットで確認すること。			約2時間
16. 期末試験 これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。				
予習				
復習				